

2021年
7月28日号
NO 5号



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習



2021年度じんけん楽習塾最終回の7月28日は「ジェーン・エリオット先生ふたたび」がテーマです。講師は富岡美知子（異文化コミュニケーション・トレーナー）さんです。エリオット先生は、アメリカで人種差別体験授業を実践された方です。よろしくお願ひします。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除されましたので、安中人権コミュニティセンターで開催します。ZOOMによるオンライン配信もしますが、オンラインによる配信の限界もあるかと思ひます。ご了承ください。なお会場参加者は700円の参加費がかかります。オンラインはこちらの配信力量の限界もあり無料です。当日の突然の参加はお断りします。

みんなのふりかえり 5回目 7/14

ぬっくの活動報告と、ぬっくで出会う子どもたちの実情と支援について」



森本志磨子さん（弁護士/NPO 法人子どもセンターぬっく理事長）の回

オンライン参加のみなさんへ

- 研修参加の際は、入室後は、映像はオンの状態をお願いします。（休憩中はオフでも大丈夫です。）
- 研修参加の際は、こちらが指示するまでマイクはミュートでの参加をお願いします。
- ZOOMに入室できない等でお困りの時は八尾市人権協会 072-924-9853 にお電話ください。
- 連絡は、ZOOMに入室後の連絡は、ホスト（事務局）あてチャット機能をお使ひください。

■現行の法体制では、18歳、19歳の虐待を受けている子どもを一時保護できないなどの問題があります。子どもシェルターは既存組織が受け入れない、最後の受け皿になっています。心身の病を抱えている子どもたちに、温かし日常生活や、入院同行、住む場所探しなど様々な支援を展開しています。

なかでも、コタンといわれる、子ども一人一人につく弁護士があり、「私の弁護士・私のコタン」と子どもたちに呼ばれています。コタンとして、子どもたちとの出会いや子どもたちの現状についての話も聞きました。最後に、森本さんは対等であること、対等であろうとすることに大切さを強調しました。対等な関係は私が対等だと思っているから実現するものでなく、意識的に作り、維持する必要のあるものという言葉が心に残っています。（ぽんみ）

■47歳の今も、若いころのしんどきのなごりや自尊感情の乏しさを今だに解決できていません。厚かましい大人になった今は過去をあまり振り返

らないけど、以前の私以上に生きづらく、しんどい思いをする子どもは増えている現実を改めて知りました。昔の繊細だった自分と少し重なりました。

■たくさん考えさせられる事があった時間でした。「対等な関係づくり」は、自分も出来ていなかったな、と思ったのでこれから心がけていきます。

■月 まず、聞いて 私の不満 希望は後で
月 聞きますよ 言語化いのち 脇に置く

■この時代にぬっくに行くことを選ぶ人生の子どもたちがいる現実には驚き、なんとも言えない気持ちになり胸が痛みました。そして支援することや協働することを確認できたり、あらためて考えさせられるような気づきが多くありました。

信じる、待つ、言葉を言い換えて、選択しやすいようにスモールステップ、エンパワーメントな関わり、事実・現象を中心に思いも伝える、役割分担、フラットにして意見を出し合う対等な関係づくり(パワーを自覚する)、1つ1つ意思表示を、言わないことが納得ではなく言わないが考えや思いや不満はある、待つことと放置してはいけないことを意識して区別し放置してはいけないことは動かしていく必要があるなどです。

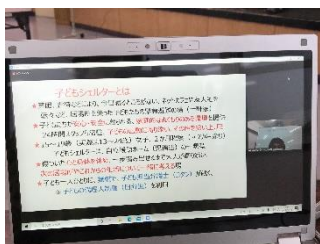
このようなことは、支援はもちろんですが、日頃の人とのコミュニケーションに同じように大切だと思いました。

ふだん実施している支援は、対象年齢が幅広くさまざまなのですが、現場体験とスキルがほとんど必要で、今日のことを参考に自分の引き出しをたくさん作っていけるといいなあと思いました。

明日から、視点を少しずつプラスしてアップデートできそうです。

ありがとうございました。

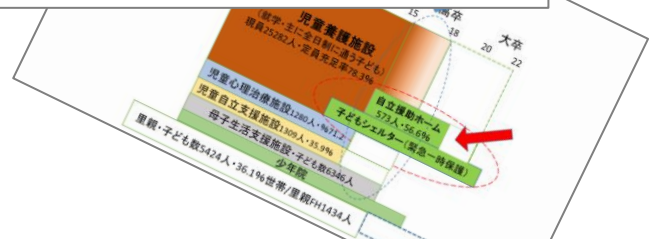
■ぬっくに入った少女たちが変わるの、一つ屋根の下であたたかい環境の中、自分を信じて見守ってくれるスタッフがいてこそ思いました。子どもを信じて「待つ」のは、本当に根



気のいることだし、どうしてよいかわからないことが多いです。わからなくても動かしていく必要があるという思いで活動されている。相談員として、親として改めて学ばせていただきました。ありがとうございました。

ぬっくの活動報告とぬっくで出会う子どもたちの実情と支援について

NPO法人子どもセンターぬっく・弁護士 森本志磨子



連絡

毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。後でメール/ファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYA OYA 通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけてください。